MACHI machi まちづくり

次世代へ対話でつなぐ平和のバトン

私が国分寺へ移り住んで15年。世界情勢に心を痛める中、「子どもたちに一番必要なの は平和だ」との思いから、数年前よりNPO法人ブリッジ・フォー・ピース(BFP)でボランティアとして活動しています。BFPは、フィリピンの戦争犠牲者や元日本兵の方々の体験を聞き取り、ビデオメッセージで両者を結ぶ活動からスタートし、現在は学校や企業などで、戦争体験者の記録映像を用いたワークショップ(参加型授業)を行い、過去の戦 争を知り未来のかたちを考えるきっかけ作りをミッションとして活動しています。

昨年、東元町の「にわには」にて、BFP主催のワークショップ【戦争の記憶を未来へつなぐ】を初開催しました。当日は約20名にご参加いただき、証言ビデオを鑑賞しながら感想を共有しました。また、国分寺在住の被爆者(広島)の方にもご協力いただき、子どもたちと一緒 に被爆証言を直接伺いながら、みんなで平和について語り合う貴重な1日となりました。

戦争や平和を自分ごととして捉え、次の世代へつないでいけるよう、これからも活動を続けていきます。

(BFPファシリテーター　Y.M)



福嶋司先生(農工大名誉教授)講演会「樹木と生き物とまちづくり2026」開催(2026.8.8)



植生管理学の専門家である福嶋先生から「人における人格と同じく、樹木にも『樹格』がある」という視点をもとに、国分寺の豊かな緑地や樹木を維持し、新たに創り出していくための方策を学びました。先生ご自身が撮影された豊富な写真とともに、地形や地図、歴史的資料からひもとかれる緑の変遷や、雑木林再生の実例は非常に興味深いものでした。

参加者からは「見慣れた景色が貴重な文化財だと再認識した」「樹木を中心とした環境作りのため、計画全体を広げる方法を考える時が来ている」といった声が上がりました。今ある緑を残し、未来へ生かすための多くのヒントを得られる貴重な機会となりました。



市内に残る美しい森



開発が決まるとたちまち失われる緑

国分寺ネット活動日誌

- ●7月7日(火)「ミズベリング水辺で乾杯2026」参加
- ●7月9日(木)北多摩北部建設事務所の説明会実施
- ●7月10日(金)　ヤングケアラー調査の学習会実施
- ●7月11日(土)東京ネット未来ゼミ「ブックスタート事業が実現するまで」に登壇
- ●7月12日(日)環境ひろば「野生動物との共存」参加
- ●7月14日(火)市とのシャボン玉懇談に参加
- ●7月18日(土)学習会「温泉を掘るって？」参加
- ●7月19日(日)講演会「地域で学ぶことは地域で生きること～人生を1本の幹に～当たり前を問い直す」参加
- ●7月21日(火)お話会「現役の小学校の先生にきく」実施／お話会「生物多様性について」実施
- ●7月23日(木)「なんでも相談シールアンケート」実施
- ●7月23日(木)昭島市光華小学校視察
- ●7月23日(木)複合公共施設ワークショップ参加
- ●7月25日(土)市民懇談「マサーヨがきく・ヤスーヨも一緒」実施
- ●7月26日(日)バイバイ原発・国分寺の会アピール活動参加
- ●7月27日(月)～28日(火)市町村議会議員研修「食と農」参加
- ●7月28日(火)お話会「多摩の戦争遺跡が語る平和」参加
- ●7月30日(木)「ごはんを作って食べるじかん」実施
- ●8月1日(土)～2日(日)社会教育研究全国集会参加
- ●8月3日(月)学習会「土壌について」実施
- ●8月6日(木)放射能測定(武蔵国分寺公園他)実施
- ●8月8日(土)　講演会「樹木と生き物とまちづくり2026」参加／若者カフェ実施
- ●8月15日(土)平和祈念式参加
- ●8月16日(日)「みんなでつくる学校会議」参加
- ●8月18日(火)ユースセンター「ココプレ住吉」(府中市)視察
- ●8月19日(水)市民連合@国分寺アピール活動参加
- ●8月19日(水)おもしろ研究所(子どもの居場所)見学
- ●8月20日(木)野川の水量調査参加
- ●8月20日(木)絵と言葉のライブラリー「ミッカ」視察
- ●8月21日(金)朝遊説(国立駅北口)
- ●8月23日(日)「なぜ再び原発？」講演会参加
- ●8月25日(火)朝遊説(西国分寺駅南口)／ワークショップ「こんなものがあればいいな」参加
- ●8月26日(水)大和市スクールセッション2026参加
- ●8月27日(木)朝遊説(西国分寺駅北口)
- ●8月28日(金)「卒業生・保護者から学ぶ進路選択」座談会参加
- ●8月30日(日)バイバイ原発・国分寺の会アピール活動参加
- ●9月5日(土)フォーラム「介護保険料も利用料もすでに限界～税金をさらに補填する制度改革へ」参加
- ●9月6日(日)平和祈念行事参加
- ●9月11日(金)家庭的保育所見学と懇談
- ●9月13日(日)プレイリーダー講習会参加
- ●9月24日(木)市民連合@国分寺アピール活動参加
- ●9月25日(金)ローカルテーブル「多様な学び」参加
- ●9月27日(日)バイバイ原発・国分寺の会アピール活動参加
- ●9月27日(日)講演会「どの子もみんな発達中」参加

このレポートは、UDフォントを使用しています。

生活者ネット こくぶんじ

No.192
2026年10月

発行／国分寺・生活者ネットワーク　発行責任者／田中由紀
連絡先／〒185-0024　国分寺市泉町3-33-16-103
TEL:042-328-1864
E-mail:kokubunji@seikatsusha.net



国分寺市議会議員
高瀬(たかせ)かおる



国分寺市議会議員
小坂(こさか)まさ代



国分寺市議会議員
松岡(まつおか)まり



意見を出そう！公共施設の新設や改修あれこれ



旧庁舎跡地の複合公共施設

庁舎が泉町に移転してから間もなく2年。この間、恋ヶ窪の旧庁舎跡地では解体が進み、来年1月頃には、新たに整備される複合公共施設と温浴施設(民間事業)の工事説明会が予定されています。市では、複合公共施設の運用方法について検討を進めており、来年3月の条例制定をめざしています。今回の検討では、施設内の各部屋の貸し出し枠を60分単位にするなど、新たな提案があります。市内施設で利用方法のパネルや模型を展示し、周知に努めるとのことです。ぜひ多くのご意見をお寄せください。



戸倉1丁目の旧庁舎跡地の現状

福祉センターの今後

築50年が経過した福祉センターは、建物の躯体が100年以上もつという驚きの調査結果が報告されました。一方で、内外装や設備の更新を行い、今後30年間使用した場合の概算額は、約70億円ということです。市は、建物については解体を前提に最適な方法を検討するとしています。福祉センターの機能は、2028年度末に恋ヶ窪の複合公共施設へ移転しますが、解体後の跡地の活用については、地域の集う場をどう確保するかも含め、市民参加が欠かせないテーマです。



市民室内プールの改修と将来像

休館中の市民室内プールは、天井を含む25か所の改修工事が2027年4月までの予定で行われます。並行して、長期的な室内プールの在り方について検討を進め、2027年1月頃にパブリック・コメントを実施し、3月以降に決定する予定です。

市民アンケートでは、「公共施設と複合化した新しい室内プールを建設してほしい」との声が多く寄せられ、「市民室内プールで学校授業を行うこと」についても、市民利用と学校利用の双方に配慮したルールづくりを前提に一定の理解が示されています。近年は、夏の酷暑により水泳授業が中止となるケースが増えています。天候に左右されずに利用できる環境整備の必要性は高まっているのではないでしょうか。

(高瀬かおる)

♨ 温泉を掘ることの豆知識 ♨

◎地下水を地表まで汲み上げて25℃以上あれば温泉です。
◎国分寺は1000メートル以上掘ると温泉が出る可能性があります。
◎その深さになると可燃性天然ガスが発生する確率が高いので、直径16メートルは建物がなく、人が立ち入らない状況でガス対策をして工事をしなければなりません。
◎約20メートルの高さの鉄塔(やぐら)を組んで掘り進めます。
◎事業者は、近隣の住民説明会を開き、その議事録を添えて東京都に申請書を提出します。
◎東京都の温泉部会が審査して許可をだすと工事が始まります。
◎申請から温泉の利用開始まで2～3年かかります。

